

企業景況調査報告書

(平成28年7～9月期)

< 目次 >

調査の概要・結果概要	・・・・・・・・・・	1
質問2（直面している経営上の問題点）	・・・・・・・・・・	2
質問3（意見等自由記載欄）	・・・・・・・・・・	3
DI集計結果・分布	・・・・・・・・・・	4～6
調査票様式	・・・・・・・・・・	7

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書（平成28年7～9月）

調査対象企業

倉吉市内の商工会議所会員企業 100社

（建設業23社、製造業19社、卸売業11社、小売業21社、サービス業20社、その他6社）

調査方法

各事業所宛てにFAXにて調査票を送付し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。

調査時期

平成28年6月下旬～平成28年7月上旬

回収状況

84社（回収率84%） ※前回（4～6月）86社

<今期の状況>

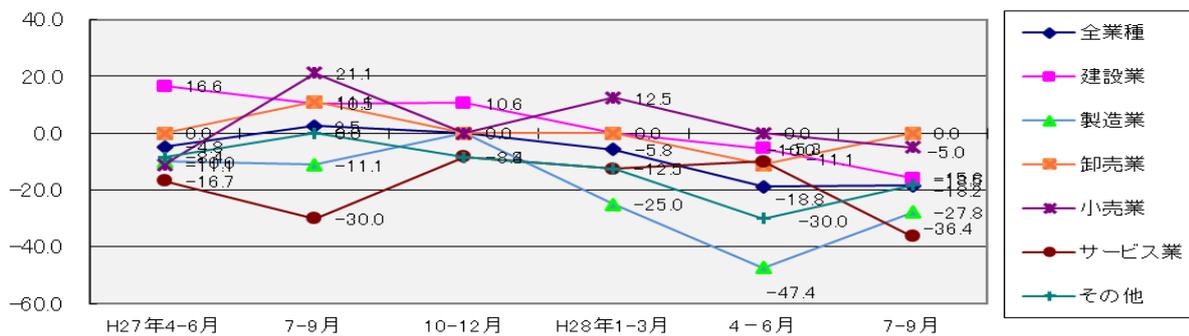
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の▲18.8から0.3ポイント上昇し、▲18.5となった。業種別に見ると、製造業・卸売業・その他の業種で上昇しており、製造業が▲47.4から19.6ポイント上昇して▲27.8、卸売業が▲11.1から11.1ポイント上昇して0.0、その他が▲30.0から11.8ポイント上昇して▲18.2であった。一方、建設業・小売業・サービス業それぞれ下降しており、建設業が▲5.3から10.5ポイント下降し▲15.8、小売業が0.0から5.0ポイント下降し▲5.0であった。特に下降が目立ったのがサービス業で▲10.0から26.4ポイント下降し▲36.4であった。

<来期の見通し>

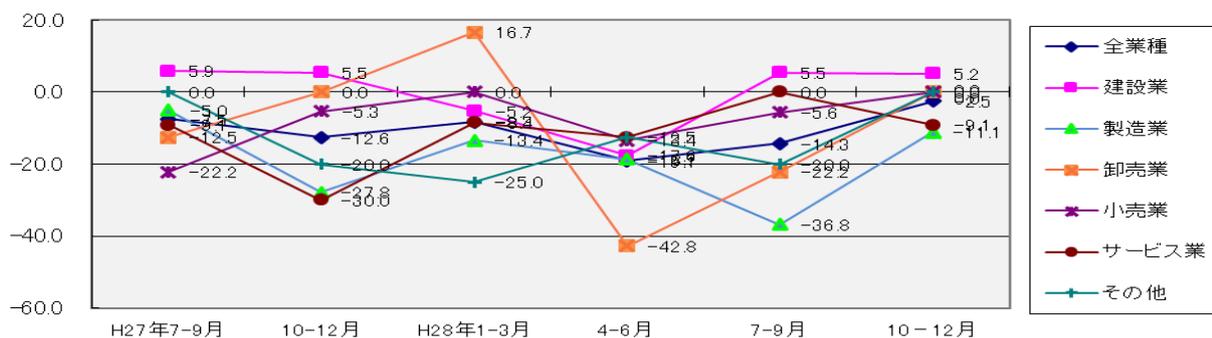
来期の見通し(平成28年10～12月)では、6業種中4業種で上昇傾向にあることから、全体の数値も▲2.5となり、前期(▲14.3)より上昇の見通しとなっている。業種別に見ると、製造業が▲11.1(前期▲36.8)、卸売業では0.0(前期▲22.2)、小売業が0.0(前期▲5.6)その他が0.0(前期▲20.0)と上昇した。一方、建設業では5.2(前期5.5)、サービス業では▲9.1(前期0.0)となっている。

<業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP4をご参照下さい。

(1) 今期の状況 <業種別>



(2) 来期の見通し<業種別>



※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりという意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

- 01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出
 17 その他:具体的に()

〔上位項目〕

※（ ）内は件数

分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当 期	競争激化(34)	消費・需要の停滞(33)	売上・受注減少(31)
	前 期	売上・受注減少(37)	消費・需要の停滞(33)	競争激化(32)
建設業	当 期	競争激化(10)	売上・受注減少(7) 利益率低下(7)	人手不足(6)
	前 期	競争激化(9) 売上・受注減少(9)	原材料・仕入価格上昇(6) 利益率低下(6)	経費の増加(5)
製造業	当 期	売上・受注減少(11)	競争激化(8)	利益率低下(6)
	前 期	売上・受注減少(11)	消費・需要の停滞(10)	競争激化(4) 店舗・生産設備不足・老朽化(4) 経費の増加(4) 利益率低下(4) 新分野進出(4)
卸売業	当 期	消費・需要の停滞(5)	売上・受注減少(4) 利益率低下(4)	競争激化(3)
	前 期	競争激化(4) 消費・需要の停滞(4) 売上・受注単価低下(4)	売上・受注減少(3) 利益率低下(3)	店舗・生産設備不足・老朽化(2) 経費の増加(2)
小売業	当 期	消費・需要の停滞(13)	競争激化(8)	店舗・生産設備不足・老朽化(7)
	前 期	消費・需要の停滞(10)	競争激化(8)	利益率低下(7)
サービス業	当 期	競争激化(4) 売上・受注減少(4) 人手不足(4)	消費・需要の停滞(3)	原材料・仕入価格上昇(2) 経費の増加(2) その他(2)
	前 期	売上・受注減少(5) 利益率低下(5)	人手不足(4)	消費・需要の停滞(2) 店舗・生産設備不足・老朽化(2) 経費の増加(2) 代金回収難(2)
その他	当 期	消費・需要の停滞(2) 売上・受注減少(2) 経費の増加(2)	競争激化(1)売上・売上単価低下(1)店舗・生産設備不足・老朽化(1) 利益率低下(1) 代金回収難(1) 資金繰り難(1)	
	前 期	競争激化(4) 売上・受注減少(4)	消費・需要の停滞(3)	店舗・生産設備不足・老朽化(2)

17. その他の課題

- ※社員の高齢化、人材育成難（建設業）、利息の利率（建設業）
- ※新商品の開発（製造業）
- ※営業・企画力不足（サービス業）
- ※集客性（小売業）

質問3 現在の景況感、企業経営上の問題点等について(要望・意見等自由記入)

【建設業】

- ・消費税増税が先延ばしになり、停滞感を感じる。
- ・社員の高齢化
- ・人材育成難
- ・将来に向けた人材育成、又新陳代謝が必要。しかしながら、高齢化が進み、若い人材の確保が難しい。その為、対策が急がれる。
- ・今期は共同企業体工事があり、売上は前期より上った。
工事期間、人員不足になり、外部より労務応援してもらった。

【製造業】

- ・人手不足で、募集しても希望する能力の人員が集まらない状態が続いている。誘致企業に人が流れているのかと思います。将来的に若い人の確保が難しくなりそう。
- ・10月からの見込み良。
- ・景況感としては厳しい。市場にはあらゆる商品が出まわっている中で消費者に評価して頂く、商品開発に苦戦している。
- ・商品力アップを重要課題と考えている。
- ・今回は売上減となり、大変厳しく、10月から12月にかけて需要の増加が期待通りになればと願っている。

【卸売業】

- ・売上単価の低迷が前期比ではでは不変ながら需要の停滞により低迷、出荷先の意欲が少なく、売上の低迷となっている。

【サービス業】

- ・流通の多岐／県外資本店舗
- ・補正予算がついて公共事業が増えそうである。増えるのは工事が中心になると思うが、少しは測量設計も増えるのではないかと考えている。
- ・国・県・市がお金を使えば、この地方全体的に消費が増えて、景気が上向くのではないと思う。
- ・受注状況を見ながらではあるが、高齢労働者と若年労働者の切り替えをする必要があると思っている。人材は不足していないが将来のことを考えると若い技術者育成は必要であると思う。

【その他】

- ・消費の停滞
- ・老朽化に伴う修繕

D I 集 計(前年同期比＝H28年7～9月期、来期の見通し＝H28年10～12月)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-17.1	-17.5	-7.3	-8.7	-13.6	-7.6
製造業	-50.0	-11.1	-11.1	0.0	-33.3	-16.7
非製造業	-7.9	-19.4	-6.2	-11.2	-8.0	-4.9

	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-5.0	-2.5	7.4	3.8	-17.8	-21.3
製造業	-5.6	-5.6	5.6	5.6	-5.9	-5.6
非製造業	-4.8	-1.7	8.0	3.2	-21.0	-25.8

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-18.5	-2.5
製造業	-27.8	-11.1
非製造業	-15.9	0.0

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-17.1	-17.5	-7.3	-8.7	-13.6	-7.6
建設業	-15.8	-15.8	0.0	0.0	-15.8	-5.6
製造業	-50.0	-11.1	-11.1	0.0	-33.3	-16.7
卸売業	22.2	-11.1	22.2	0.0	33.3	0.0
小売業	0.0	-27.7	-30.0	-26.3	-10.5	-16.6
サービス業	-27.3	-18.2	-9.1	-9.1	-18.2	0.0
その他	-20.0	-20.0	20.0	-20.0	-20.0	20.0
非製造業	-7.9	-19.4	-6.2	-11.2	-8.0	-4.9

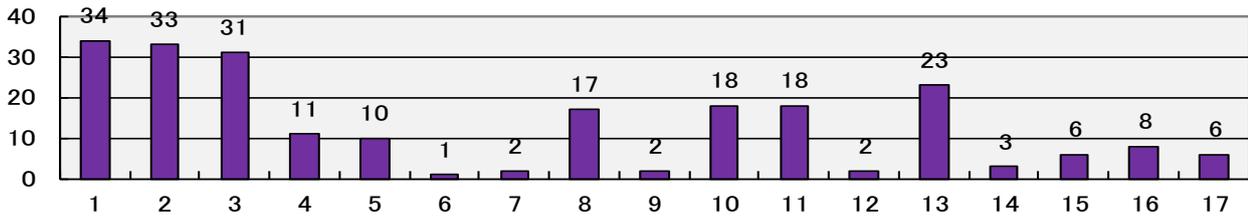
	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-5.0	-2.5	7.4	3.8	-17.8	-21.3
建設業	-5.2	5.6	21.1	15.8	-31.6	-26.3
製造業	-5.6	-5.6	5.6	5.6	-5.9	-5.6
卸売業	0.0	-12.5	0.0	-12.5	0.0	0.0
小売業	5.0	-5.2	0.0	0.0	-25.0	-31.6
サービス業	-9.1	9.1	0.0	9.1	-27.3	-45.5
その他	-40.0	-20.0	20.0	-20.0	9.1	0.0
非製造業	-4.8	-1.7	8.0	3.2	-21.0	-25.8

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-18.5	-2.5
建設業	-15.8	5.2
製造業	-27.8	-11.1
卸売業	0.0	0.0
小売業	-5.0	0.0
サービス業	-36.4	-9.1
その他	-18.2	0.0
非製造業	-15.9	0.0

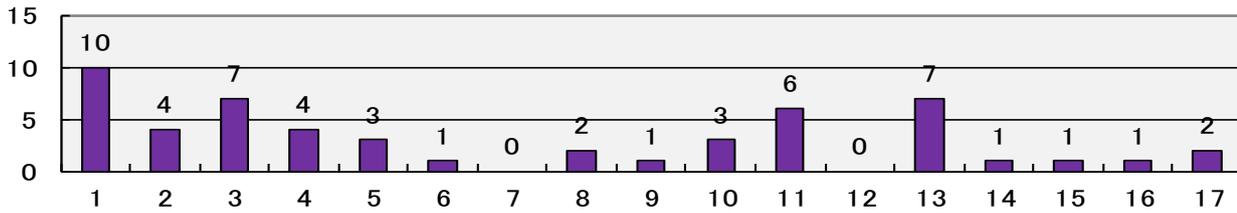
質問 2 今期直面している経営上の問題点

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 2 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 3 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 4 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 5 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 6 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 7 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 8 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他 |
| 9 店舗・生産設備過剰 | |

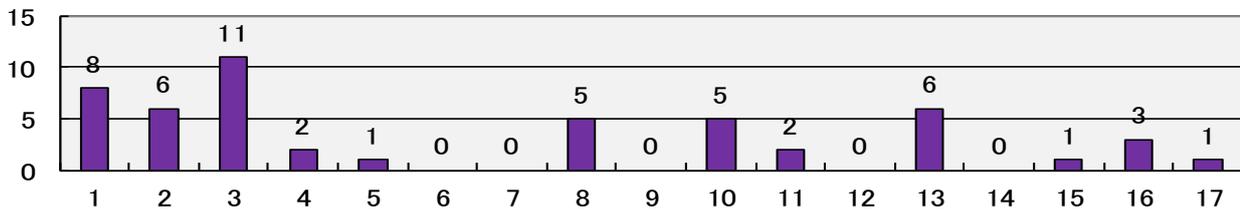
全業種(複数回答)



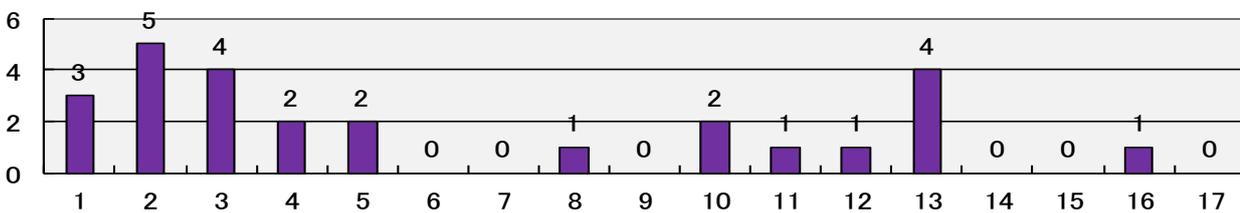
建設業(複数回答)



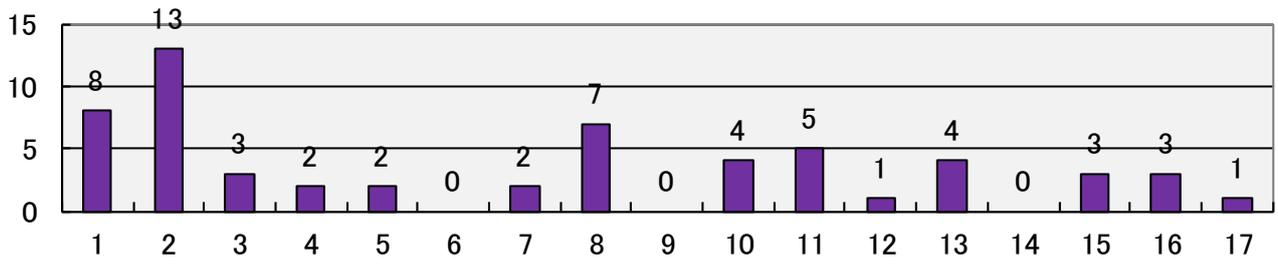
製造業(複数回答)



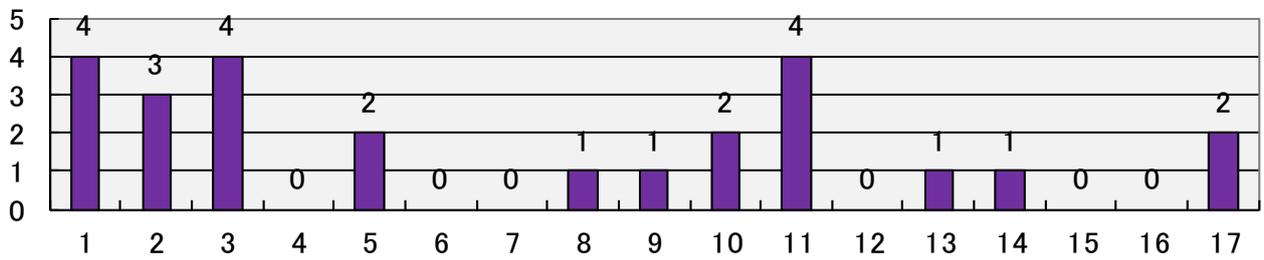
卸売業(複数回答)



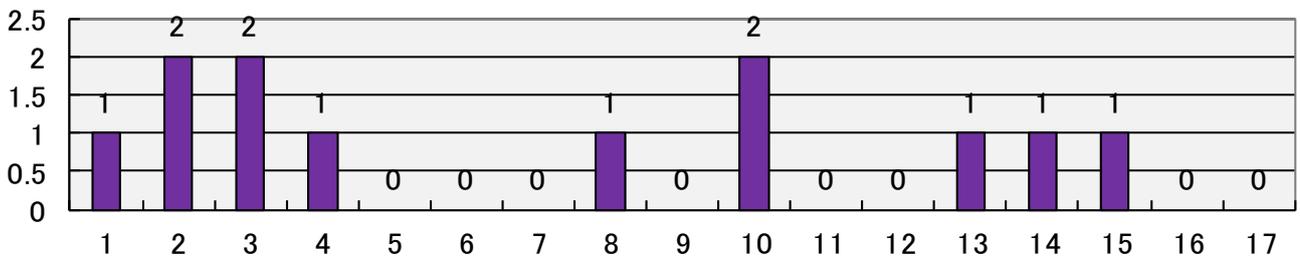
小売業(複数回答)



サービス業(複数回答)



その他(複数回答)



事業所名: _____ (お手数ですがご記入をお願いします。)



倉吉商工会議所企業景況調査票(平成 28 年 7~9 月期)

調査元 : 倉吉商工会議所 TEL:22-2191
FAX:22-2193

【質問 1】 前年同期と比較した今期(平成 28 年 7~9 月)の状況と、今期と比較した来期(平成 28 年 10~12 月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人(うち正規雇用者 人)		
	(前年同期比)	1. 過剰	2. 不変	3. 不足
7) 貴社の業況	(来期の見通し)	1. 過剰	2. 不変	3. 不足
	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問 2】 今期、直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

01 競争激化	10 経費の増加	回答欄
02 消費・需要の停滞	11 人手不足	
03 売上・受注減少	12 人手過剰	
04 売上・受注単価低下	13 利益率低下	1位 _____
05 原材料・仕入価格上昇	14 代金回収難	2位 _____
06 原材料・在庫不足	15 資金繰り難	
07 原材料・在庫過剰	16 新分野進出	3位 _____
08 店舗・生産設備不足・老朽化	17 その他:具体的に	
09 店舗・生産設備過剰	()	

【質問 3】 現在の景況感、企業経営上の問題点等、その他ご意見等についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。